

P 計画の基本事項				
基本目標	3 読書ネットワークの充実			
施策	(1) まどかぴあを中心としたネットワークの推進			
施策の方向性	本の専門家である司書へ誰もが気軽に相談できる窓口を設置し、市民及び関係機関へ広く周知を行います。また、市民の読書活動を推進するために、ICTの活用等、図書館と学校、地域の連携のあり方を検討していきます。			
主な取組	①相談窓口の充実			
	②時代に即した連携のあり方の検討			
成果指標	相談窓口・レファレンス 利用者満足度	策定時点	目標値(R9)	
		-	80.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	相談窓口及びレファレンスサービスの活用促進	年間受付件数	9,320件	6,000件
主な取組の実施状況及び今後の方針	①相談窓口の充実		達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆館内レファレンス、出前講座等を行った。今後は、団体への利用案内にも相談窓口について記載するなど、周知活動を行う。(まどかぴあ図書館) ◆児童カウンターにできるだけ職員を配置し、読書相談等に対応するとともに、ボランティアからの相談の受付体制を強化するために、ボランティアに関する情報を職員間で共有した。(まどかぴあ図書館) ◆市内関係施設への団体貸出と除籍本の提供を実施した。(まどかぴあ図書館) ◆団体向け利用案内を送付し、6団体の新規登録があった。(まどかぴあ図書館) ◆地域貸出文庫に対し、本の整理や除籍、ブックカバーの貼り方の講座を開催した。(まどかぴあ図書館) 		①効果が期待以上	
	②時代に即した連携のあり方の検討		達成状況	
	◆学校において、まどかぴあ図書館からの貸出を受けることで、まどかぴあ図書館の資料を効率的に運用した。今後は学校の図書司書を通じた連携に加え、タブレットを活用した新たな連携方法について検討する。(教育振興課)		②期待どおり	
C 評価				
推進委員会評価	◆問題なく実施されている。「相談窓口及びレファレンスサービスの活用促進」については、目標を上回る成果を出すことができている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。			
検討が必要な事項	◆なし			
A 改善				

